

令和 8 年

第 1 0 回本巢市教育委員会会議録

(令和 8 年 9 月 1 8 日)

本巢市教育委員会

第 10 回本巣市教育委員会会議録

会議の場所 本巣市役所本庁舎 3階大会議室
日 時 令和8年9月18日 金曜日 午後1時25分
出席者 教育長 川治 秀輝
教育委員 小澤 明年
教育委員 黒田 隆吉
教育委員 藤木 節子

本委員会に職員として出席した者の職氏名

教育委員会事務局	高木 孝人	事務局長兼教育総務課長
	薄田 茂樹	参事兼学校教育課長
	脇田 純一	参事兼幼児教育課長
	長屋 和宏	参事兼社会教育課長
	植田 さゆり	学校教育課主幹
	登尾 裕美	幼児教育課主幹
	茶縁 愛香	学校教育課総括課長補佐
	高田 茂和	教育総務課課長補佐 兼教育総務係長
	松葉 里恵子	学校教育課 学校給食センター所長
	五島 さやか	幼児教育課課長補佐 兼幼児教育係長
	中野 徳和	社会教育課課長補佐
	廣瀬 義隆	社会教育課課長補佐

議題

議第31号 本巣市留守家庭教室事業実施要綱の一部を改正する告示について

その他

(1) 幼稚園・学校訪問について

(2) 先進地視察について

(3) 次回教育委員会開催期日について

開会 午後 1 時 2 5 分

川治教育長 : 開会を宣告した。

川治教育長 : ①夏休み明けのスタート

夏休みの終わりに、9 月 1 日対策として全教職員に対し、電話連絡や家庭訪問等による状況確認の徹底を指示した。「宿題ができていなくても安心して登校するように」とのメッセージ伝えた結果、全体として健康で笑顔あふれる良好なスタートを切ることができた。

②防災教育と当事者意識の醸成

8 月から 9 月にかけて全国各地で発生した浸水被害や地震などの災害を受け、防災対策の重要性を再認識した。8 月中旬にはホープ防災リーダーズと共に東北の被災地を視察し、宮城県石巻市大川小学校の事例から「事前の準備の重要性」と「意志決定の訓練」の大切さを学んだ。この教訓を本市の「命を守る訓練」に反映させ、形式的な訓練ではなく、教職員や子どもたちが自ら判断できる「本気の訓練」へと転換していく必要がある。

③探究学習の成果

真正中学校の探究学習でアニサキスを研究していた生徒が、卒業後も研究を継続し、東京大学研究センターの高校生研究員に選ばれるという成果を挙げた。また、中学 1 年時に防災士を取得した根尾学園の卒業生が、高校で地震研究を専門的に深め、将来の本市への貢献を志している。これらの事例を踏まえ、子どもたちの「好き」や「得意」を伸ばし、自律的に学ぶ姿勢を育む教育の重要性を再認識した。

について話をした。

.....

川治教育長 : 事務局からの報告を求めた。

薄田課長 : 資料に基づき説明した。

脇田課長 : 資料に基づき説明した。

長屋課長 : 資料に基づき説明した。

.....

川治教育長 : 議第 3 1 号「本巣市留守家庭教室事業実施要綱の一部を改正する告示について」を議題とし、事務局に説明を求めた。

脇田課長 : 人件費や物価の上昇による運営経費の増加を踏まえ、保護者負担に配慮しつつ利用料を改定するとともに、利用者の選択肢を広げるため新たな料金区分を設けるほか所要の改正を行うため、告示を定めることについて、教育委員会の承認を求める旨を告げ資料に基づき説明した。

小澤代理者 : これまでの留守家庭教室では、冬休みや春休みのみの利用枠はなかったのか。

脇田課長 : 以前はなかったが、保護者アンケートの要望を踏まえ、今回新たな利用枠を設けた。

小澤代理者 : 令和8年度の秋休みから開始される配食サービスは、給食センターによるものか。

脇田課長 : 給食センターではなく民間業者を活用する。保護者がスマートフォンで業者へ直接注文を行い、教職員は現場で受け渡しのみを行う仕組みである。

川治教育長 : メニューの個別要望については、食数変動等の運営上の都合により、対応は困難である。

川治教育長 : ほかに質問等がないことを確認し、原案のとおり承認するかを諮った。

川治教育長 : 異議がなかったため原案のとおり承認した。

.....

川治教育長 : 日程5「その他」について説明を求めた。

高田課長補佐 : (1) 幼稚園・学校訪問について出席を依頼した。

高田課長補佐 : (2) 先進地視察について出席を依頼した。

高田課長補佐 : (3) 次回教育委員会開催期日について諮り、11月9日(月)午後1時30分に決定した。

.....

川治教育長 : 以上で提案された案件は終了した旨を告げ、委員会を閉会とした。

閉会 午後2時03分